

平成 25 年度

事業計画書

一般財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団

目 次

I	事業方針	1
II	重点項目	1～2
	1 「公共サービス基本法」を遵守した施設運営と高品質サービスの提供	
	2 事業の安定化と拡充	
	3 管理・運営体制の強化	
III	事業計画	3～8
	1 施設プログラムサービス	
	2 広域プログラムサービス	
	3 その他の取組み	

I 事業方針

当財団は、札幌市におけるスポーツの普及振興及び健康づくり活動の支援のために必要な事業を行うとともに、札幌市の設置するスポーツ・健康づくり施設の指定管理者として、施設の設置目的である「市民の心身の健全なる発達及び体育の振興を図る」を達成するため、より一層の市民サービス向上と安全で快適な施設運営を行い、スポーツを楽しむ環境の充実と健康づくりを推進する。

II 重点項目

1 「公共サービス基本法」を遵守した施設運営と高品質サービスの提供

- 1) 市民の皆様から信頼される公共サービス提供者として、平等利用、市民交流、環境保全、防災及び地域活性化等、様々な市民ニーズに則した運営を行う。
- 2) 事故・災害・犯罪等の緊急事態に備え、お客様の安全確保及び被害を最小限に抑えるため、リスクマネジメントにより危機管理に対する職員の意識向上と即応できる体制を強化する。
- 3) 計画的な研修の実施と業務遂行に必要な専門資格の取得等、職員の能力及び技術の向上に体系的かつ継続的に取り組む。

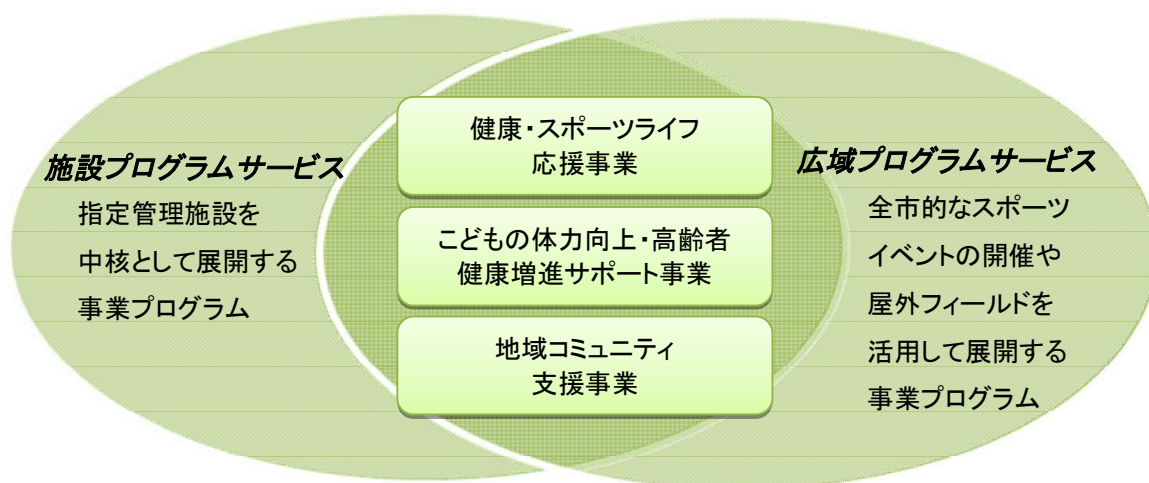
2 事業の安定化と拡充

- 1) 事業実施にあたり、事業領域を①健康・スポーツライフ応援事業、②子どもの体力向上・高齢者健康増進サポート事業、③地域コミュニティ支援事業の3つに定め、それぞれ指定管理施設を中核とした「施設プログラムサービス」と全市的なスポーツイベントの開催や屋外フィールドを活用する「広域プログラムサービス」により、安定的な事業を推進する。
- 2) スポーツと健康づくり活動に関する事業を効果的に行うために、指定管理施設相互の連携を強化する。
- 3) 幼児の運動体験や子どもの体力・運動能力向上、高齢者の健康維持や生きがいづくり、生活習慣病・介護予防に関する事業等、ライフステージとニーズに応じたプログラムを拡充する。

3 管理・運営体制の強化

- 1) 組織としての社会的責任を果たすため、法令遵守の観点から、個人情報保護、情報公開、環境問題等の知識を習得する。
- 2) 法改正や札幌市の関連施策にあわせ、規程の整備や各種マニュアルの見直しを行うとともに、OJT（職場内研修）と off-JT（職場外研修）を相互補完的に継続し、管理体制を強化する。

<事業領域>



健康・スポーツライフ
応援事業

市民の誰もが生涯を通じて行えるスポーツ・レクリエーションと健康づくり活動の普及振興を図るとともに、運動やスポーツを身近で楽しむ環境を創出する。

こどもの体力向上・高齢者
健康増進サポート事業

幼児の遊びや運動体験、こどもの体力・運動能力向上、高齢者の健康維持・促進や生きがいづくりを支援するため、プログラムと環境等の拡充を図る。

地域コミュニティ
支援事業

地域におけるスポーツ・健康づくり活動団体及び関係機関とのネットワークづくりや交流を通じ、地域コミュニティの活性化を促進する。

Ⅲ 事業計画

1 施設プログラムサービス

1) 施設の管理運営（指定管理事業）

① 札幌市体育館グループ（13 施設）

北区体育館、東区体育館、白石区体育館、厚別区体育館、豊平区体育館、南区体育館、手稲区体育館、中央体育館、西区体育館・温水プール、清田区体育館・温水プール、中島体育センター、宮の沢屋内競技場、白旗山競技場

② 札幌市温水プールグループ（6 施設）

東温水プール、白石温水プール、厚別温水プール、豊平公園温水プール、手稲曙温水プール、平岸プール

③ 札幌市美香保体育館（1 施設）

④ 札幌市スケート施設グループ（2 施設）

月寒体育館、星置スケート場

⑤ 札幌市屋外競技場施設グループ（2 施設）

円山総合運動場、麻生球場

⑥ 札幌市スポーツ交流施設（1 施設）

⑦ 札幌市藤野野外スポーツ交流施設（1 施設）

⑧ 札幌市健康づくりセンター（3 施設）

中央健康づくりセンター、西健康づくりセンター、東健康づくりセンター

⑨ どうぎんカーリングスタジアム（1 施設）

2) スポーツ・健康づくり事業（自主・指定管理・受託事業）

① スポーツ教室事業（6,200 事業 92,000 人）

各管理施設において、技術の向上や、健康・体力づくりを目的とした教室事業を開催する。

継続的な運動の機会を提供する一般事業のほか、財団独自の取り組みによる高等教育機関・専門機関と連携した専門性の高いプログラム開発や、地域のニーズに応じて短期、通年型、文化活動を含めた教室、啓発活動等を幅広く実施する。

また、スポーツ教室参加への動機づけとなる見学会・体験会等を積極的に実施する。

② スポーツ大会、スポーツイベント事業（140 事業 12,000 人）

各管理施設において、地域のスポーツ活動の支援となる大会、イベント事業を開催する。

また、参加者の交流と継続意欲を高めることを目的とし、複数の管理施設合同の事業を実施する。

- ③ 地域コミュニティ支援事業（80事業 53,000人）
区役所、町内会など地域と連携したイベントや、地域のための無料のセミナー、AED講習会等を実施する。
 - ④ 周年記念事業（3事業 1,000人）
平成25年度中に周年を迎える施設（開館30周年：南区体育館、豊平公園温水プール、20周年：中央健康づくりセンター）において、地域住民に対する謝恩及び社会貢献事業として、無料開放等の記念イベントを開催する。
- 3) スポーツ・運動・保健・栄養指導及び指導者の育成事業（自主・指定管理事業）
- ① スポーツ・運動指導（20事業 60,000人）
健康づくりセンターにおいて、自由参加プログラムでのスポーツ・運動指導を実施する。
 - ② 健康運動指導士、保健師、管理栄養士の派遣事業（40事業 1,800人）
保健センター、地域団体、事業所等へ指導職員を派遣し、運動・保健・栄養指導を実施する。
 - ③ 指導者の育成事業（1事業 50人）
地域スポーツの普及や健康づくり事業に携わる指導者を対象に、技術力及び指導能力向上を目的とした研修会を開催する。
- 4) 健康・体力づくり相談事業（自主・指定管理・受託事業）
- ① 健康増進事業（40事業 200人）
医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士等による健康度測定や健康体力測定及び特定保健指導等の各種相談、指導事業を実施する。
また、「健康づくりネットワークシステム」を活用し、スポーツ施設と健康づくり施設が連携した健康増進事業を実施する。
 - ② 健診事業（640事業 2,800人）
女性のフレッシュ健診、特定健診や事業所健診等、生活習慣病予防のための健康診断や労働安全衛生法、健康保険法に基づく事業を実施する。
- 5) 健康・スポーツ情報提供及び調査研究事業（自主・指定管理事業）
- ① 各種媒体の活用により、健康とスポーツに関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進する。
 - ② 健康・スポーツ情報を広く提供するため、「ヘルス&スポーツライフ」(Health&SportsLife：年4回、各10,000部)を発行する。また、財団ホームページにおける情報内容を拡充させる。

- ③ 市民を対象に健康づくりの普及・啓発を目的とした健康づくりセミナーを開催する。
 - ④ 健康・スポーツに関する調査研究を行い、医科学的根拠を持った情報・プログラムを市民、関係機関へ発信する。
- 6) 学校施設の開放と教室事業（自主・受託事業）
- ① 学校施設の開放事業（センター管理校及び自主管理校）
札幌市内の学校施設を開放し、市民のスポーツ・文化活動を支援する。
〔体育館開放（284校）、グラウンド開放（59校）、プール開放（200校）、
格技場（18校）、文化活動練習会場学校開放（16校）〕
 - ② 学校体育施設を利用したスポーツ教室を開催する。（20事業 300人）
- 7) 物品販売・貸付及び飲食店業（収益事業）
- 施設利用者に対する利便向上を目的に、売店・レストランや自動販売機を設置するとともに、コインロッカー・ドライヤー・スポーツ用品の貸し出しを行う。

2 広域プログラムサービス

- 1) スポーツ・健康づくり事業の開催（自主・受託事業）
- ① 第36回北海道を歩こう
開催日：5月26日（日）
会場：真駒内～真駒内カントリークラブ～支笏湖ポロピナイ
種目：33 km、10 km
参加者数：2,200人
 - ② 第38回札幌マラソン
開催日：10月6日（日）
会場：真駒内セキスイハイムスタジアム他
種目：ハーフマラソン、10 km、5 km、中学生、小学生、ファンペア、
車イス
参加者数：15,000人
 - ③ 第34回札幌国際スキーマラソン大会
開催日：2月2日（日）
会場：札幌ドーム他
種目：スキーマラソン 50 km・25 km、歩くスキー10 km・5 km・3 km
参加者数：2,200人
 - ④ その他スポーツイベント等の共催
 - ・6時間リレーマラソン in 札幌ドーム（7月21日）
 - ・第38回サッポロ豊平川イカダ下り（7月下旬）

- ・札幌小学生陸上競技教室（8月10日）
 - ・2013北海道マラソン（8月25日）
 - ・オータム Run フェスタ in 札幌ドーム（9月下旬）
 - ・サッポロヘルス&ビューティフェア 2013（10月下旬）
 - ・第4回北海道ハイテク AC 小学生陸上競技クリニック（12月22日）
 - ・第7回とよひらおもしろスノーパーク（2月中旬）
 - ・中央区ウインタースポーツフェスタ in 大倉山（2月中旬）
 - ・大通公園ウインタースポーツフェスティバル（2月下旬）
 - ・札幌市室内陸上競技大会（3月下旬）
- ⑤ 少年少女水泳教室
市内20カ所の小学校プールを会場として、小学3～6年生を対象に水泳教室を開催する。（全8日間）
- ⑥ スポーツキャラバン事業（90事業 7,000人）
町内会、PTAや企業等が行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に指導者の派遣、イベントの企画、スポーツ用具の貸し出し等を行う。
- ⑦ アウトドア講習会事業（15事業 200人）
札幌市内及び近郊において、四季折々の自然環境を活かした軽登山、ノルディックウォーキング等の屋外事業を実施する。
- 2) ウインタースポーツ・レクリエーション活性化事業（自主・受託事業）
- ① 歩くスキー常設コースの開放と歩くスキーの貸出
中島公園、白旗山競技場に歩くスキー常設コースを設置・管理し、歩くスキーの貸し出しを行う。
- ② 教室・体験会、イベント等の開催（200事業 50,000人）
スキーやアイスホッケー等のウインタースポーツの教室、体験会を実施するとともに、地域向けのイベント等の開催や運営協力を行う。
- ③ ウインタースポーツキャラバン（8事業 1,200人）
幼稚園児、小学生を対象に、歩くスキー等のウインタースポーツ・レクリエーションの体験会を実施する。
- ④ 北海道歩くスキー協議会
北海道内の歩くスキー、クロスカントリースキー15大会が加盟している同協議会の事務局を担い、大会相互の連携と発展を図る。
- 3) スポーツ・運動指導者及び施設運営管理者の育成事業（自主事業）
（公財）日本体育施設協会や順天堂大学等との連携により、スポーツ・運動指導者及び健康・スポーツ施設の運営管理者を育成する。
- 4) スポーツボランティアの育成支援事業（自主事業）
スポーツイベントの活性化を図るため、NPO 法人日本スポーツボランテ

ィアネットワークに加盟し、スポーツボランティアを育成して活動を支援する。

5) 地域スポーツの振興・支援事業（自主事業）

地域スポーツクラブが中心となって推進している地域スポーツの振興事業に協力するとともに、事業プログラムの企画・提供を行い地域住民のスポーツ活動を支援する。

3 その他の取組み

1) 社会貢献及び環境美化活動

① 健スポエコキャップ推進運動

管理施設内においてペットボトルキャップの回収を行い、「NPO 法人世界の子どもにワクチンを日本委員会」を通じて、貧困に苦しむ子供たちへ支援活動を行う。

② 防犯活動及び交通安全啓発運動

登下校時のスクールガードや、子どもを見守るパトロール等、地域における防犯活動を実施する。また、警察署及び町内会等と連携し、施設周辺の交通安全啓発運動へ積極的に参加する。

③ インターンシップ等の推進

インターンシップや職場体験学習を積極的に受け入れ、学生や産業界等の活動を支援する。

④ 募金活動

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関の活動支援として、募金活動を実施する。

⑤ 献血への協力

全従業員へ呼びかけ、北海道血液センターでの献血に協力する。

⑥ 環境美化活動

地球環境の保全を目的とした活動の一環として、施設周辺の地域や豊平川河川敷のボランティア清掃活動を実施する。また、植栽等による地域の環境美化活動に参加する。

2) 協力・支援事業

① プロスポーツへの貢献事業

北海道フットボールクラブをはじめとする地域密着型のプロスポーツチームを支援し、地域スポーツの振興と市民との触れ合いの場の創出を図る。

② 北翔大学との間で、学生が札幌マラソン等の企画・運営等に携わる「事業連携包括協定」を締結し、スポーツイベントの活性化を促す。

③ 運営協力事業

- ・札幌市民体育大会総合開会式
- ・宮様スキー大会国際競技会開・閉会式及び白旗山競技場
- ・市民交流ウォーキング大会
- ・北の都札幌ツデーウォーク
- ・大通フロンティアコース（雪まつり期間中の歩くスキー体験コース）

④ 他団体への協力支援

一般財団法人札幌市体育協会へ職員を派遣し、団体の活動を支援する。
また、関連団体が主催する健康・スポーツ事業への役員就任や後援等を行い、スポーツの普及振興と健康づくり活動を支援する。

(収支見込)

収入予定 4, 045, 346, 000円

所要経費 4, 038, 369, 000円